2-318-426-**05**(1)

SONY

アクティブスピーカーシステム

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠警告　電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。**この取扱説明書をよくお読みのうえ、**製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

SRS-ZP1000D

Printed in Malaysia

⚠警告 安全のために

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、電気製品はすべて、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることがあり危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

この「安全のために」をよくお読みください。

定期的に点検する

1年に1度は、電源コードのプラグ部とコンセントとの間にほこりがたまっていないか、故障したまま使用していないか、などを点検してください。

故障したら使わない

動作がおかしくなったり、破損しているのに気づいたら、すぐにお買い上げ店またはソニーサービス窓口に修理をご依頼ください。

万一、異常が起きたら

❶ 電源を切る
❷ 電源コードを抜く
❸ お買い上げ店またはソニーサービス窓口に修理を依頼する

警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠危険
この表示の注意事項を守らないと、火災・感電・破裂などにより死亡や大けがなどの人身事故が生じます。

⚠警告
この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。

⚠注意
この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

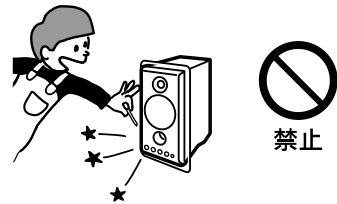
注意を促す記号

行為を禁止する記号

行為を指示する記号

下記の注意事項を守らないと**火災・感電**により**大けが**の原因となります。

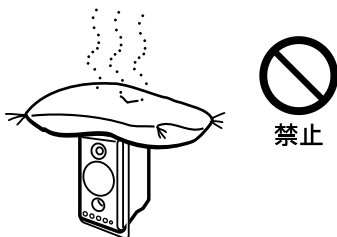
内部に水や異物を入れない

水や異物が入ると火災や感電の原因となります。万一、水や異物が入ったときは、すぐにスイッチを切り、電源コードをコンセントから抜いて、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。

ぬれた手で電源コードをさわらない

感電の原因となることがあります。

本体や電源コードを布団などでおおった状態で使わない

熱がこもってケースが変形したり、火災の原因となることがあります。

禁止

⚠注意　下記の注意事項を守らないと**けが**をしたり周辺の**家財**に**損害**を与えたりすることがあります。

はじめからボリュームを上げすぎない

突然大きな音が出て耳をいためることがあります。ボリュームは徐々に上げましょう。とくに、ＭＤ、ＣＤやＤＡＴなど、雑音の少ないデジタル機器をヘッドホンで聞くときにはご注意ください。

保証書とアフターサービス

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お買い上げ店でお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを
この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときは
お買い上げ店、または添付の「ソニーご相談窓口のご案内」にあるお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は
保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。くわしくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は
修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について
当社ではアクティブスピーカーシステムの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後6年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。保有期間が経過したあとも、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、お買い上げ店またはサービス窓口にご相談ください。

正しくお使いいただくために

安全上のご注意

安全について：
家庭用電源コンセント（AC 100V）につないでお使いください。

電源コードについて：
電源コードを抜くときは、コードを引っ張らずに、必ずプラグを持って抜いてください。

留守にするときは：
本機のPOWERスイッチを押してOFFにしただけでは、電源は完全に切れていません。ご旅行などで長い間お使いにならないときは、必ず電源コードをコンセントから抜いてください。

異常や不具合が起きたら：
万一、異常や不具合が起きたときや異物が中にはいったときは、すぐに電源コードを抜き、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。

取り扱い上のご注意：

- スピーカーユニット、内蔵アンプ、キャビネットは精密に調整してあります。分解、改造などはしないでください。
- 特に、ジャックには異物を入れないでください。故障や事故の原因になります。
- 破損を防ぐため、本機をパーソナルコンピューターやオーディオ機器と接続する前にそれぞれの電源を切ってください。

お手入れのしかた：
- キャビネットが汚れたときは、中性洗剤を少し含ませた柔らかい布でふいてください。シンナー、ベンジン、アルコールなどは表面の仕上げを傷めますので、使わないでください。

設置について：
- 次のような場所は避けてください。
  — 直射日光の当たる所、暖房器具の近くなど、温度の高い所。
  — 窓を閉め切った自動車内（特に夏季）。
  — 風呂場など、湿気の多い所。
  — ほこりの多い所、砂地の上。
  — 時計、キャッシュカードなどの近く。（防磁設計になっていますが、録音済みテープや時計、キャッシュカード、フロッピーディスクなどは、スピーカーの前面に近づけないでください。）
- 平らな場所に設置してください。
- 設置条件によっては、倒れたり落下したりすることがあります。貴重品などを近くに置かないでください。
- 通風のため、左スピーカーの裏面に充分なスペースをとって配置してください。
- 本機の上に物をのせないでください。

モニター画面に色むらが起きたら

このスピーカーシステムは防磁型（JEITA*）のため、モニターのそばに置いて使うことができますが、モニターの種類（ブラウン管式）により色むらが起こる場合があります。

色むらが起きたら
いったんモニターの電源を切り、15～30分後に再び電源を入れてください。

それでも色むらが残るときは
スピーカーをさらにモニターから離してください。

さらに
スピーカーの近くに磁気を発生するものがないようにご注意ください。スピーカーとの相互作用により、色むらを起こす場合があります。

磁気を発生する物
ラック、置き台の扉に装着された磁石、健康器具、玩具などに使われている磁石など。

* 電子情報技術産業協会の略称です。

スピーカーユニットについて

本製品のウーファーには、美濃和紙の技術を応用した無着色コーン紙を使用しています。このため、まれにコーン紙表面に粒上の着色が見えることがありますが、異常ではありません。

主な仕様

スピーカー部

型式	2-wayスピーカーシステム 防磁型（JEITA*）
使用スピーカー	直径 100 mm、コーン型 直径 25 mm、コーン型
インピーダンス	4 Ω
定格入力	25 W

アンプ部

実効出力	25 W + 25 W（全高調波歪10%、1 kHz、4 Ω）（JEITA*）
入力	光角型端子 × 1 （OPTICAL INPUT） ステレオミニジャック × 1 （INPUT）
入力インピーダンス	4.7 kΩ（1 kHz）
出力	ステレオミニジャック （PHONES）

電源部・その他

電源	AC 100V（50/60 Hz）
消費電力	31 W
コードの長さ	約2 m
最大外形寸法	約140 × 330 × 203 mm （幅／高さ／奥行き）
質量	左スピーカー約4.5 kg 右スピーカー約2.8 kg
付属品	オーディオ接続コード（ステレオミニプラグ ⟷ ステレオミニプラグ、約1.5 m）（1） スピーカーケーブル（約2 m、1） 取扱説明書（1）、保証書（1）、ソニーご相談窓口のご案内（1）

別売りアクセサリー
- プラグアダプター
  - PC-234HS（ステレオ標準プラグ ⟷ ステレオミニジャック）、
  - PC-251MS（ステレオミニプラグ ⟷ ステレオミニジャック）
- 接続コード
  - RK-G22（ステレオミニプラグ ⟷ ステレオ標準プラグ）（1.5 m）
- 光デジタルケーブル
  - POC-5A、POC-10A、POC-5AB、POC-10AB、POC-L10AB、など

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

* JEITA（電子情報技術産業協会）規格による測定値です。

よくあるお問い合わせ、窓口受付時間などはホームページをご活用ください。
http://www.sony.co.jp/support

使い方相談窓口	修理相談窓口
フリーダイヤル ・・・・・・・・・・・・・0120-333-020 携帯電話・PHS・一部のIP電話 ・・・・・・・・・・・・・0466-31-2511	フリーダイヤル ・・・・・・・・・・・・・0120-222-330 携帯電話・PHS・一部のIP電話 ・・・・・・・・・・・・・0466-31-2531 ※取扱説明書・リモコン等の購入相談はこちらへお問い合わせください。

FAX（共通） 0120-333-389

上記番号へ接続後、最初のガイダンスが流れている間に
「309」+「#」を押してください。直接、担当窓口へおつなぎします。

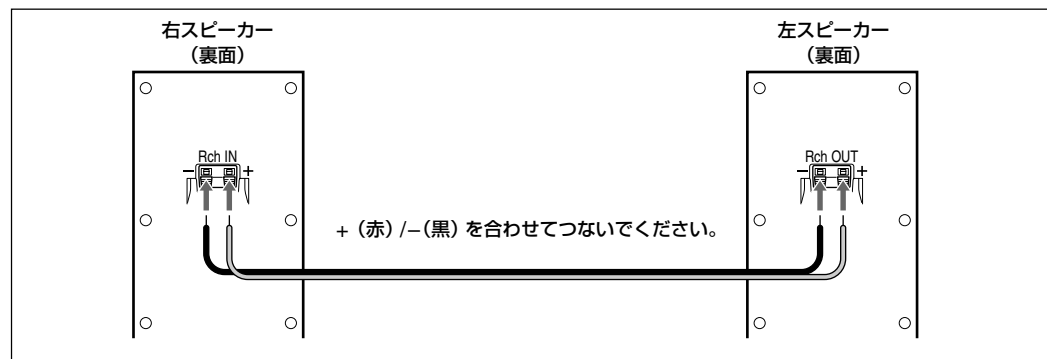
ソニー株式会社　〒108-0075 東京都港区港南1-7-1

接続

1 スピーカーケーブルをつなぐ

右スピーカーと左スピーカーの+(赤)/–(黒)を合わせてつないでください。

ご注意

他の機器やスピーカーは絶対につなげないでください。本スピーカーシステムやつないだ機器の故障の原因となります。また、+/–を間違えて接続すると、正しい音が再生できません。

2 左スピーカーを、お聞きになる機器につなぐ

ラジオなどのモノラルジャックにつないだときは、左スピーカーからしか音が出ないことがあります。別売りのプラグアダプターPC-251MSを使うと左右のスピーカーから音が出ます。

標準タイプのヘッドホンジャック(カセットデッキなど)につなぐには

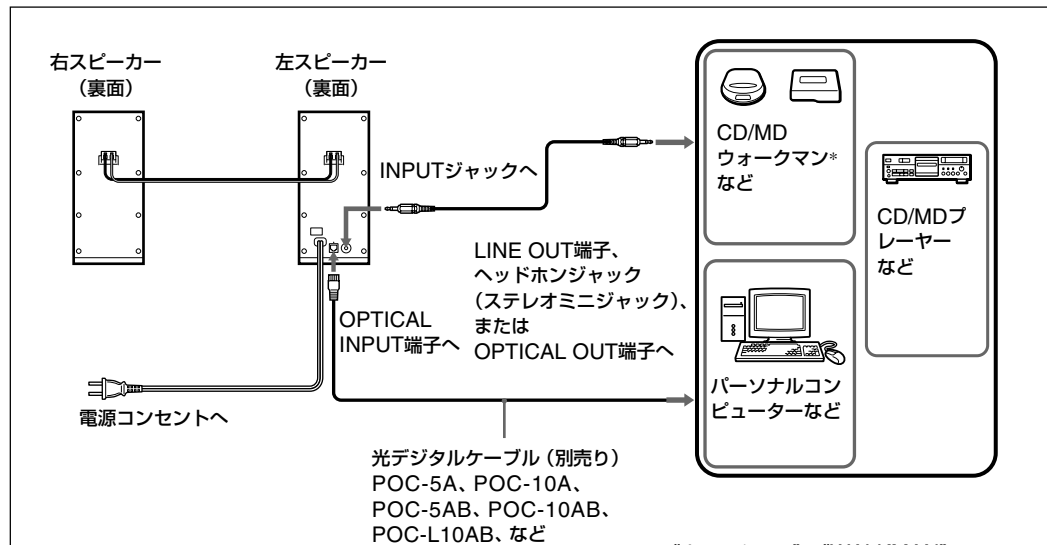
別売りのプラグアダプターPC-234HS、または接続コードRK-G22をお使いください。

ご注意

OPTICAL INPUTとINPUTの入力切換えは、接続した機器のON、OFFで行なってください。

3 電源プラグを家庭用電源コンセントにつなぐ

長時間使用しないときは、電源コードをコンセントから抜いてください。

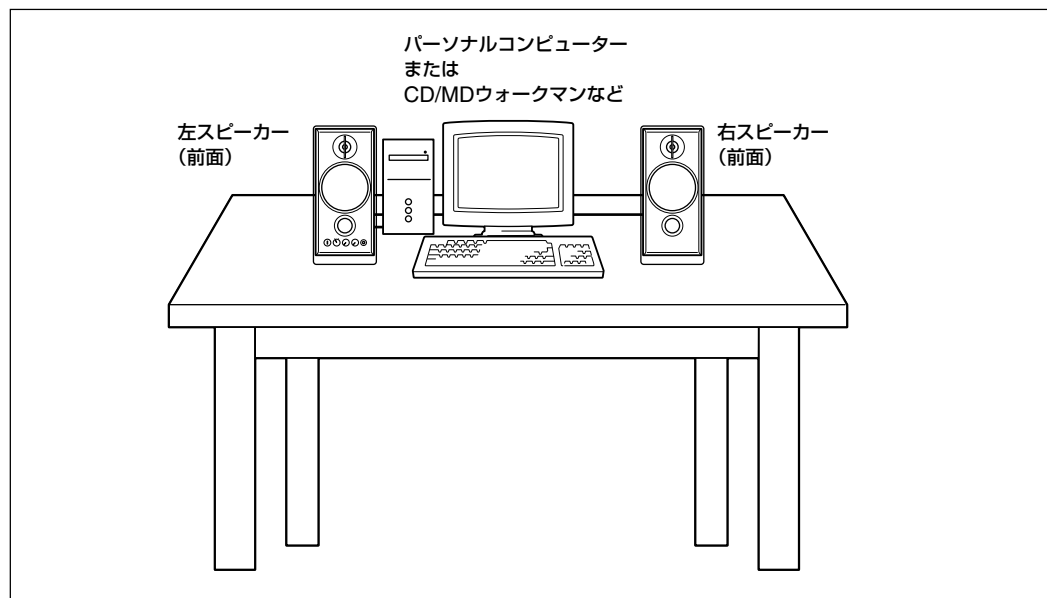
* "ウォークマン"、"WALKMAN"、"WALKMAN" ロゴは、ソニー株式会社の登録商標です。

接続端子について

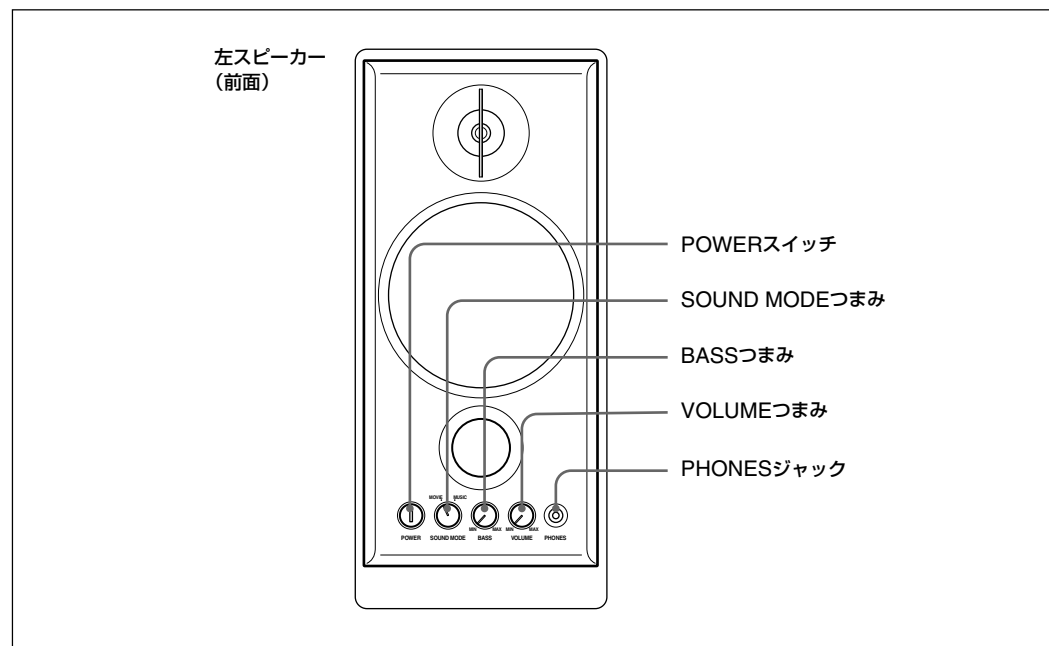
– INPUT（アナログ）端子：
ウォークマンなど、ヘッドホンジャックやLINE OUT端子を持つ機器に接続します。なお、ヘッドホンジャックとLINE OUT端子の両方を装備した機器では、LINE OUT端子に接続してください。また、ヘッドホンジャックに接続した場合は音が歪まないよう接続した機器の音量を下げてご使用ください。

– OPTICAL INPUT（デジタル）端子：
パーソナルコンピューターやCDプレーヤーなどで光デジタル出力端子を持つ機器に接続します。

ご注意

OPTICAL IN(光デジタル入力)コネクタから入力されるのは、リニアPCM(サンプリング周波数 44.1 kHz/48 kHz/96 kHz)のデジタル音声のみです。デジタルのマルチチャンネルサラウンド音声は入力できません。

4 スピーカーを配置する

使いかた

VOLUMEつまみでスピーカーの音量を最小にしてください。スピーカーをポータブル機器のヘッドホン出力に接続する場合は、あらかじめ接続した機器の音量を下げておきます。

1 左スピーカーのPOWERスイッチを押してON(⊐)にする

電源ランプが点灯します。

2 再生する

接続した機器を再生し、スピーカーの音量を調節します。
ヘッドホン出力に接続する場合は、接続した機器の音量も調節します。
聞き終わったら、POWERスイッチを押してOFF(⊐)にしてください。
電源ランプが消えます。

音量を調節するには

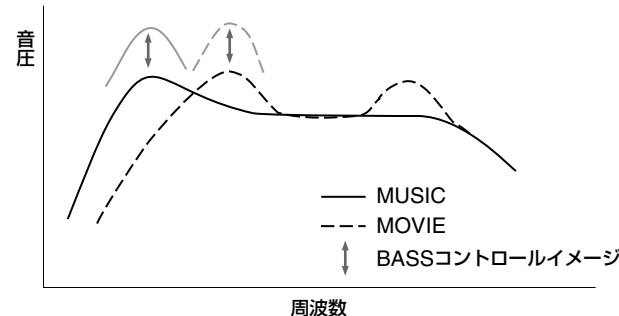
VOLUMEつまみを回してください。

低音を調節するには

BASSつまみを回して低音の音量をお好みに応じて調節してください。スピーカーユニットの破損を防ぐため、音が歪まない音量でご使用ください。

SOUND MODEについて

SOUND MODEを切り換えると、再生する音源に合った音を楽しむことができます。
– MOVIE：豊かで質のいい低音とクリアな高音が再現でき、DVDソフトによる映画鑑賞やPCゲームの再生に適しています。
– MUSIC：歯切れのよい、かつ繊細な音質で楽しめ、音楽の再生に適しています。

それぞれのSOUND MODEで、強調する周波数を変えて、迫力ある音質を実現します。
BASSつまみで各モードに最適な周波数の低音を調節できます。

ご注意

ウォークマンなどのバスブースト機能は解除してください。ひずみの原因になることがあります。

故障かな？と思ったら

症状	原因	処置
音が割れる、またはノイズが出る	入力信号が大きすぎる。	接続した機器の音量を下げる。
	接続した機器のバスブースト機能を使用している。	バスブースト機能を解除する。
	接続した機器のヘッドホンジャックに接続している。	接続した機器にLINE OUT端子がある時は、LINE OUT端子に接続する。
	入力コードがしっかり接続されていない。	入力コードを確実に接続する。
	テレビに近すぎる所に設置されている。	テレビから離して設置する。
音が小さい、または音が出ない	POWERスイッチがOFFになっている。	POWERスイッチをONにする。
	VOLUMEつまみが最小(MIN)に絞られている。	VOLUMEつまみで調節する。
	入力コードがしっかり接続されていない。	入力コードを確実に接続する。
	接続した機器のヘッドホンジャックに接続している。	接続した機器の音量を上げる。
	本機のヘッドホンジャックにヘッドホンが接続されている。	ヘッドホンをはずす。
	マルチチャンネルサラウンド音声が入力されている。	リニアPCM(サンプリング周波数44.1 kHz/48 kHz/96 kHz)のデジタル音声を入力して下さい。
電源ランプがちらつく	音量を上げたときに電源ランプがちらつくことがありますが、故障ではありません。	